

国宝小川本真草千字文の魅力

『千字文』は、南朝梁（五〇二〜五五七年）の周興嗣が武帝の命により、文字習得のための教材として編んだ字種の異なる一千字の韻文である。毎句は四字で「天地玄黄」からはじまり、「焉哉乎也」で終わる二百五十句からなっており、手習いはもとより、経典などの配列を示すものとしても使用される例も見受けられ、まさに漢字文化圏を代表する作品である。

このたび全編を原寸原色影印する「国宝小川本真草千字文」は、この『千字文』を当時重要視された二種の書体——真（楷書体）・草（草書体）の字体で書き、併記したもの。わずかに欠損はあるものの、ほぼ完全な状態で伝わっている現存最古の「真草千字文」の写本である。

本帖は元来卷子装であり、正倉院宝物「国家珍宝帳」に見える「書法廿卷」のうち、「同義之書卷第五十一真草千字文二百三行 浅黄紙 紺

綾標 綺帯（貼紙別筆）紫檀軸」と記載されたものに相当すると考えられており、奈良時代の聖武天皇・光明皇后遺愛品とみなされてきた。

王羲之七世の孫・智永の筆によるものとして古くより「智永千字文」の通名で知られる逸品であり、その字すがたは、真草ともに比較的ゆつくりとした運筆であり、いずれも温雅で簡明な美しさを有している。後世に数多くの模本が作成されるなど、書の世界においても第一級の資料である。

また、「国宝小川本真草千字文」には、楊守敬・日下部鳴鶴・羅振玉・内藤湖南といった錚々たる書家・蔵書家・学者たちの筆により来歴と本書の国宝たる所以を記した題跋を具備しており、近代書道史・蔵書史における貴重史料でもある。

本書の特長

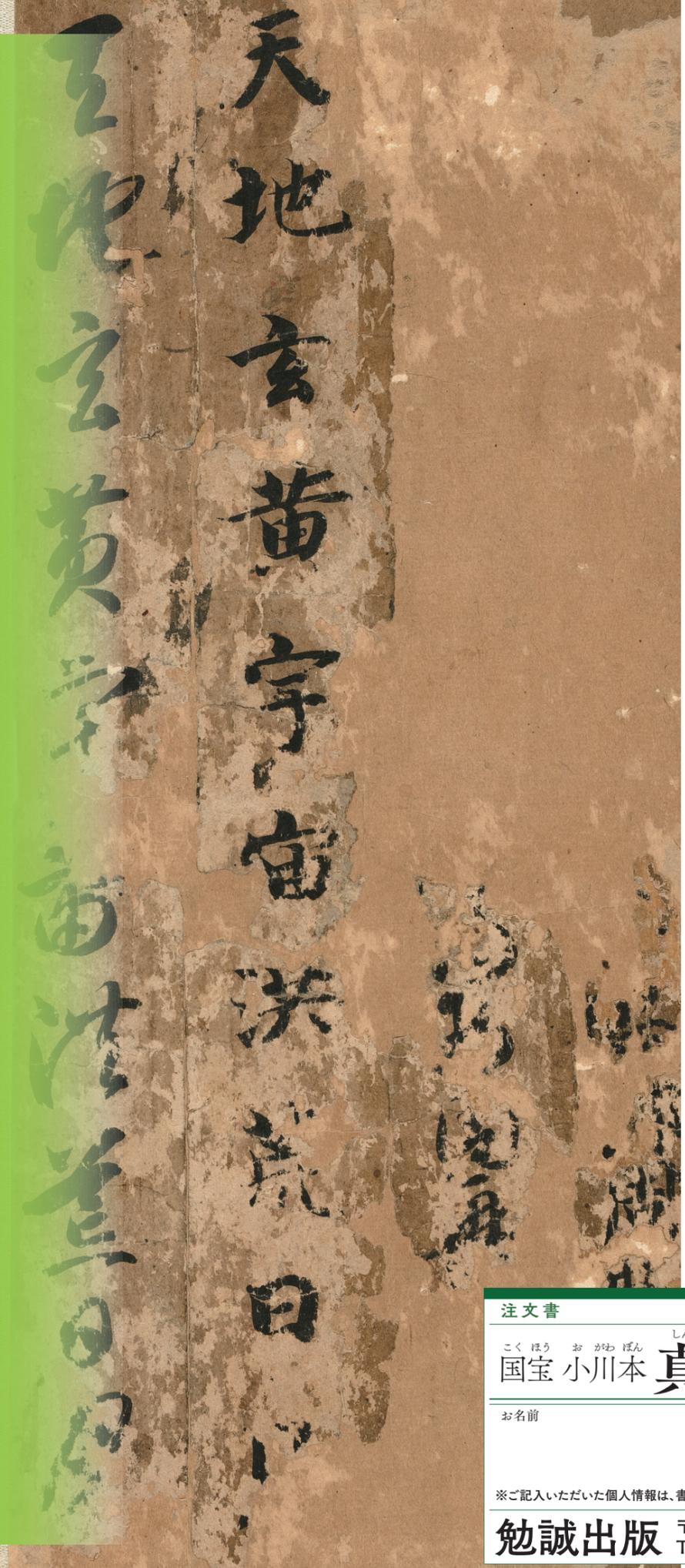
- 完形に近い最古の伝本である、国宝『真草千字文』小川家所蔵の全編を原寸・原色にて影印。
- 高精細デジタル撮影により紙質・形状・筆勢・筆致・美観など文化財の現在の状況を余すところなく再現。王羲之書の臨写手本として最適。
- 楊守敬・日下部鳴鶴・羅振玉・内藤湖南ら、歴代の書家・学者による題跋も全編原寸・原色影印。
- 杭迫柏樹氏（日展内閣総理大臣賞・日本芸術院賞受賞、日展名誉特別会員）の自筆推薦文を掲載。
- 赤尾栄慶・石塚晴通の文化財学の新知見を含む解題を付し、国宝『真草千字文』の文化的価値を明らかにした。

目次

- 序言：小川雅人（小川家当主）
- 国宝小川本真草千字文
- 題跋 楊守敬・日下部鳴鶴（東作）・羅振玉・内藤虎次郎（湖南）
- 国宝真草千字文に寄せて：杭迫柏樹
- 解説 国宝小川本千字文解題：赤尾栄慶
- コディコロジーより見た国宝小川本千字文——貞観十五年本と対比して：石塚晴通

編者紹介

- 石塚晴通**（いしづか はるみち）
北海道大学名誉教授・東洋文庫研究員
専門は国語学、敦煌学、文字学。
- 赤尾栄慶**（あかお えいけい）
京都国立博物館・名誉館員
専門は古写経学・文化財学。



国宝小川本真草千字文

小川雅人 [原本所蔵]

石塚晴通 赤尾栄慶 [編]

王羲之の書法を学ぶ絶好のテキスト

杭迫柏樹氏、推薦！

本体25,000円(+税)

2018年9月刊行

変形判上製函入特装本・64頁

勉誠出版

注文書

こくほう おがわほん しん そう せん じ もん
国宝小川本真草千字文

お名前

ご住所・お電話番号・Email

編者◎石塚晴通・赤尾栄慶
判型◎変形判上製函入特装本・64頁
定価◎25,000円(+税)・2018年9月刊行
ISBN978-4-585-27049-2 C3071

書店印

※ご記入いただいた個人情報は、書籍の発送、お支払い確認、ご希望いただいた方への刊行案内をお送りするために使用し、それ以外での使用は致しません。

勉誠出版 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10-2
TEL=03-5215-9021 FAX=03-5215-9025 E-mail=info@bensei.jp URL=http://bensei.jp/

【題跋】

真草千字文一書為智永禪師所造者其于此可上流小篆與真草
人間創造頗或以石印中在本既復迴轉而疑之是猶執人之寫照
而疑及真而也通也 內府藏書者甚多近中有宋王知微所藏者其
筆法與此真草無異 故予嘗謂此書之出必與此書之出為影
印也以此本至信而後內所學之士庶至氣不測以疑其造乎至既
壬戌三月工展羅振玉書法書畫中寫

羅振玉

昨訪清客楊惺吾觀其所藏智永二體子文
蒼拓刻本云此自王陽明先生藏真跡
入刻者熟視之與公所藏之父子神彩
形質毫髮相肖殆如出一子以弟所鑒
公藏既不是空海不是唐人定為永師真跡多
疑天下後世不以耳為目者知弟言不妄 謝春第一
以此代贊詞 十四年一月甲
如雲先生 東作

日下部鳴鶴(東作)

世傳永師喜書千文傳世凡八百本
然自宋亡來唯潤中石刻本有薛
嗣昌跋佑稱鐵門限者其他集帖
中皆無別本余嘗得劉雨若所鑄
一冊曰寶墨軒云是王女啟破家濛
所得其中唯游字缺筆或是武德
時人所臨 日下鳴鶴見之自言其友

楊守敬

天地玄黃 宇宙洪荒 日月盈虧 星辰錯落 絜氣清濁 陰陽分判 上下未交 四方未溷 水火相濟 金木相和 廣生靈 育萬物 春樹蒼生 夏長草木 秋收為實 冬藏開餘 成歲律呂 各得其宜 庶幾萬物 咸得其所 至矣哉 夫 天地玄黃 宇宙洪荒 日月盈虧 星辰錯落 絜氣清濁 陰陽分判 上下未交 四方未溷 水火相濟 金木相和 廣生靈 育萬物 春樹蒼生 夏長草木 秋收為實 冬藏開餘 成歲律呂 各得其宜 庶幾萬物 咸得其所 至矣哉 夫

国宝 小川本 真草千字文 [卷頭]

谷如意翁舊藏真草千字文今歸蘭齋小川
君棟架陰前鑑賞家多定為智永真跡清
國楊星吾亦以為唐極永書今以關中石本校
之行款既同結體亦肖至其神采發越墨華
絢爛竟非石本可比謂為出於永師似無不
可 翁卓豁以關中本宋初諱字歟未筆起北宋人所書
楊星吾以寶墨軒本獨歎潤字未筆及其出武德舊

內藤虎次郎(湖南)

推薦文 ● 杭迫柏樹

國寶真草千字文に寄せて
現存最古の真跡千字文
完璧な複製
紙化して簡素な優雅な氣品
傳承にすれば王羲之七世の孫智永の真跡とも
本流回歸をのぞかず書人への
王羲之書法絶好の千古ノト
杭迫柏樹識